

皆さんにもっと知ってもらいたい 土地開発公社

17年度の決算と18年度事業計画

平成17年度の土地開発公社事業では、町の委託に基づく公有用地の新規取得及び処分はなく、土地造成事業として、諏訪養護学校同窓会館建設用地を1件、町に販売するに留まりました。

平成17年度決算状況（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

* 収益的収入及び支出（販売と経費）

事業収益

土地造成事業等 3,601千円（収益的収入）

事業支出

支払利息等 2,285千円（収益的支出）

販売費及び一般管理費 1,303千円（収益的支出）

（収入） - （支出） = 12千円（当期純利益）

* 資本的収入及び支出（事業継続に必要な費用）

資本的収入

借入金 1,820,000千円（資本的収入）

資本的支出

借入金償還金 1,820,000千円（資本的支出）

支払利息等 7,024千円（資本的支出）

（収入） - （支出） = 7,024千円

7,024千円については一時借入金で補てん。

平成17年度の決算状況から、分譲地の販売が無いと支払利息及び固定資産税中心の収支となり、経営のバランスが保てなくなってしまう状況です。

平成18年度事業計画（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

公有地取得事業

町等からの依頼により逐次先行取得を行い、町の予算に基づき保有する公有用地を売却。

土地造成事業

完成土地（各住宅用地・工業用地）の販売と未成土地の管理。

予 算

* 収益的収入及び支出

事業収益（土地造成事業等） 40,724千円

事業原価（土地造成事業原価等） 31,243千円

予定収益額 9,481千円

* 資本的収入及び支出

資本的収入（借入金） 1,790,000千円

資本的支出（土地造成事業費・借入償還金）

1,825,627千円

（収入） - （支出） = 35,627千円

不足額については一時借入金で補てん。

未成土地には経費である借入金の利息や固定資産税が毎年簿価に算入され、資産は増えた形になっています。これ以上簿価を上昇させないため、庁内に支援検討委員会を設置、外部団体にも協力をいただきながら未成土地の有効活用と町の支援策などについて検討しています。

今後も、土地開発公社の経営状況等については、随時お知らせしていきます。

富士見町土地開発公社の
現状についてお知らせします
第3回

【お問い合わせ】

役場建設課内
土地開発公社事務局
☎62-9212（直通）
☎9224

Eメール:kensetsu@
town.fujimi.
nagano.jp